



PRESS RELEASE

2004年6月21日

8回目のロボカップ世界大会、 EURO2004 開催中のポルトガル、リスボンで29日から

世界中のロボット・研究者が集う「ロボカップ世界大会」が、サッカーヨーロッパ選手権 EURO 2004 が行われているポルトガルの首都リスボンで、6月29日(火)～7月5日(月)の7日間の日程で開催されます。今年で8回目となるロボカップ世界大会には、世界34ヶ国・地域から346チーム、約1400人の参加者とさまざまな最新のロボット達がポルトガルに集結、サッカー競技に加え、レスキューなどの種目に分かれて競います。日本からは、サッカー、レスキューなど7リーグに28チーム、ジュニア部門には16チームが参加予定です。

「ロボカップ」は「西暦2050年までに、人間のサッカー世界チャンピオンチームに勝てるロボットチームを作る」という目標を掲げ、“ロボットによるサッカー”の実現を中心に、ロボット工学や人工知能の研究を推進する国際プロジェクトです。このプロジェクトに取り組んでいる研究者及び学生数は、世界35ヶ国で4,000名以上にのぼり、今年の大会には、地元ポルトガルをはじめ、日本、ドイツ、アメリカ、イラン、中国など各地からチームが参集します。また、競技会終了後に催されるシンポジウムでは、最先端の科学技術の知見が共有されていきます。

日本からの参加は、昨年上位2位を独占したサッカー中型ロボットリーグをはじめ、全リーグに及びます。来年世界大会が開催される大阪からは、産官学連携チームの Team Osaka がヒューマノイドリーグに独自開発のヒューマノイド VisiON (ヴィジオン)で臨みます。(日本からの参加チーム一覧は p.4 を参照)

なお、来年のロボカップ世界大会は、大阪市で7月13日～19日に開催予定です。



Team Osaka
„VisiON“



取材申込み/ Media Accreditation

取材申し込みは、ウェブサイト www.robocup2004.pt の NewsRoom セクションから申込書をダウンロードしてご記入の上、担当 **Rui Barbosa** (rbarbosa@iefp.pt) 宛にお申し込みください。

リスボンでの記者会見

日時：6月28日 11時よりリスボン国際博覧会議場、オーデトリウムII, ミーティングセンターにて

世界大会に関するお問い合わせ

ロボカップ国際委員会 担当：松岡

Tel： 03-5468-1661 Fax：03-5468-1664

E-mail： office@robocup.org

URL： <http://www.robocup.org>

大会映像購入に関するお問い合わせ

株式会社電通九州 担当：坂田 Tel：090-5482-1222

E-mail： tt.sakata@dkj.dentsu.co.jp URL： <http://www.dentsuky.co.jp/robocup/robomovie> (../2)

RoboCup2004 Lisbon Communication Chair

担当：Rui Barbosa

E-mail： rbarbosa@iefp.pt

URL： <http://www.robocup2004.pt>





ロボカップ 2004 リスボン 大会概要

- 名称: 「RoboCup 2004 Lisbon」
 和称: ロボカップ2004リスボン世界大会
- 会期: 2004年6月29日(火)～7月5日(月):7日間
- 会場: リスボン国際博覧会場(FIL=International Fair of Lisbon) パビリオン4
 Expo98 リスボン国際博覧会会場の跡地、Parque das Nacoes 内・
 人間のサッカー大会 EURO2004 の国際メディアセンター (Pavilhao Atlantico) に隣接。
- 主催: ロボカップ国際委員会 / ロボカップ 2004 リスボン実行委員会
- 協賛: 株式会社ゼンリン、ソニー株式会社、日本 SGI 株式会社、株式会社イーケイジャパン
- 放映局: KBC 九州朝日放送(日本・北部九州地区の独占放送)

大会スケジュール

| 日 | Activity | 一般公開 | ジュニア | EURO´2004 |
|------|-------------------------------------|------------------|-----------|-----------|
| 6/27 | チームセットアップ | | | No Games |
| 6/28 | | | チームセットアップ | |
| 6/29 | 予選 | 公開 9:00-23:00 | 競技 | 準決勝 |
| 6/30 | | | | |
| 7/1 | | | | |
| 7/2 | 準々決勝・準決勝 | | | No Games |
| 7/3 | 決勝 | | | No Games |
| 7/4 | ロボカップシンポジウム @IST Congress Center | | | 決勝 |
| 7/5 | | | | No Games |

2004年参加予定チーム内訳

| | |
|------------------|-------------|
| ロボカップサッカー: | |
| シミュレーションリーグ | 41 チーム |
| 小型ロボットリーグ | 21 |
| 中型ロボットリーグ | 24 |
| 4足ロボットリーグ | 24 |
| ヒューマノイドリーグ | 12 |
| E-リーグ(新設) | 4 |
| ロボカップレスキュー: | |
| レスキューロボットリーグ | 19 |
| レスキューシミュレーションリーグ | 17 |
| ロボカップジュニア: | 184 (予定) |
| 計 | 346 チーム(予定) |

| | |
|-------------|----------------------------|
| Argentina | Portugal |
| Australia | Romania |
| Austria | Russia |
| Brazil | Singapore |
| Canada | Sweden |
| Chile | Taiwan* |
| China | Thailand |
| Finland | Turkey |
| France | UAE |
| Germany | UK |
| Mexico | USA |
| Netherlands | |
| India | International Teams |
| Iran | China+Singapore |
| Israel | Sweden+Spain |
| Italy | USA+Japan |
| Japan | Germany+Portugal |
| Korea | Germany+UK |
| Latvia | |

詳細は、www.robocup2004.pt または www.robocup.org を参照のこと。

(../3)





ロボカップ競技

ロボカップの競技は大きく3つのカテゴリー（サッカー、レスキュー、ジュニア）に分かれています。



ロボカップサッカー

ロボカップサッカーの試合は、人間のサッカーと同じく自分で考えて動く自律型ロボットを使って行われます。ロボットの大きさや採用する技術等により5つのリーグに分かれています。



ヒューマノイドリーグ

2002年より正式種目となった自律型2足歩行ロボットのリーグ。「歩く」、「ボールを蹴る」といった基本動作を試す競技や、独自の機能を披露する「フリースタイル」競技が行われる。総合優勝者にはルイ・ヴィトン・ヒューマノイドカップが授与される。



シミュレーションリーグ

ロボットの実機を使うことなく、コンピューター上の仮想フィールドで、それぞれ異なった人工知能プログラミングされた11対11のバーチャルロボットが5分ハーフのサッカーを行う。遠隔地からの参加も可能。一番歴史の古いリーグ。



小型ロボットリーグ (f-180)

卓球台程の大きさのフィールドで、直径18cm以内のロボット5台1チームで試合をするリーグ。フィールド全体を見渡すカメラか、ロボット搭載カメラからの視覚情報を元に、ロボット同士がいかにシステムチックなチームプレイを構築するかが見所。



中型ロボットリーグ (f-2000)

直径50cm以内のロボット4台が、卓球台9枚ほどの大きさのフィールドで、オレンジ色のボールを追う競技。多くのチームが360度見渡せるカメラを搭載、センサーで自分とボールの位置をすばやく判断して動く。迫力ある攻防が見所。



4足ロボットリーグ

ソニーのAIBOをプラットフォームとして使った4台1チームのサッカーリーグ。共通プラットフォームを採用しているため、各チームのロボットプログラミングの優劣で勝敗が左右される。



ロボカップレスキュー

ロボカップサッカーで培われた技術を災害救助に利用しようというプロジェクト。地震等の大規模災害時の救助戦略を発展させようというシミュレーションと、現場に駆けつける自律型ロボットの開発を推進。



レスキューロボットリーグ

仮定の災害現場にて、レスキューロボットの実機が、災害救助活動のスピードと精度を競い合う競技。参加チームには、すでに実際の災害現場での人命救助に活躍しているロボットもいる。



レスキューシミュレーションリーグ

都市での災害発生を想定して、サーバー上にてバーチャルロボットが災害救助活動を行う競技。



ロボカップジュニア

教育とホームエンターテインメント向けのロボカップ。競技会を目指してチームで準備をするというプロジェクト志向のカリキュラムで、楽しみながら理論や技術を理解できるように企画されています。教材開発や、科学技術教育手法の研究も行っています。



サッカー チャレンジ

小学生から参加できるロボットサッカー競技。1対1と2対2の競技に分かれ、ロボット単体の性能や、チームプレイを競う。

ダンス チャレンジ

子供達が製作したロボットによる自由演技ベースのダンスパフォーマンス競技。ロボットの動きだけでなく、全体のプレゼンテーション力も評価される。



レスキュー チャレンジ

ロボットに決められたコースを辿らせて、早く確実に被災者を発見していくという競技。センサー等を駆使したロボットが登場する。



リスボン大会 日本からの参加予定チーム - 6月15日現在: 28チーム + ジュニア16チーム

| リーグ | チーム名 | 所属 |
|--------------------------|------------------------|-------------------------------|
| ロボカップサッカー | | |
| 小型ロボットリーグ | KIKS | 豊田工業高等専門学校 |
| | OsaYans2004 | 大阪大学 |
| | Owaribito-CU | 中部大学 |
| | Toin Albatross | 桐蔭横浜大学 |
| | CMRoboDragons'04 | 愛知県立大学 + カーネギーメロン大学* |
| 中型ロボットリーグ | EIGEN | 慶應義塾大学 |
| | OsakaUniv.Trackies2004 | 大阪大学大学院 |
| | WinKIT | 金沢工業大学 |
| 4足ロボットリーグ | ARAIBO | 東京大学・中央大学 |
| | ASURA | 九州工業大学・福岡工業大学 |
| | BabyTigers | 大阪大学・大阪市立大学 |
| | Jolly Pochie | 九州大学 |
| ヒューマノイドリーグ | Senchans | 大阪大学 |
| | Team Osaka | システクアカザワ・ロボガレッジ・ヴィストン・大阪大学大学院 |
| シミュレーションリーグ | ChaGamma | 産業技術総合研究所・北陸先端科学技術大学院大学 |
| | Gemini | 産業技術総合研究所 |
| | hana | 大阪府立大学 |
| | RaiC04 | 福井大学 |
| | TokyoTech SFC | 東京工業大学 |
| | Tsubame-Gaeshi | 福井大学 |
| YowAI2004 | 電気通信大学 | |
| ロボカップレスキュー | | |
| レスキュー ロボットリーグ | Nutech | 長岡技術科学大学 |
| | SHINOBI | 電気通信大学・日本 SGI (株) |
| | Toin Pelican | 桐蔭横浜大学 |
| | UMRS | 神戸市立工業高等専門学校 |
| レスキュー シミュレーションリーグ | Hinomiyagura | 名城大学 |
| | NITRescue04 | 名古屋工業大学 |
| | YowAI2004 | 電気通信大学 |
| ロボカップジュニア | | |
| サッカーチャレンジ 2対2 | | |
| プライマリー部門 (小学生対象) | Ultimate | 北九州市立児童文化科学館 |
| | RISE TaTox | エレファント・アリー |
| | Quick-and-Slow | トゥルース・アカデミー |
| | Ikusei2003 | 育星舎 |
| セカンダリー部門 (中高生対象) | Kitakyusyu-A.I. | 北九州市立児童文化科学館 |
| | H&N | 東京都立工業高等専門学校 |
| レスキューチャレンジ | | |
| プライマリー部門 | Team-i | 個人 |
| | dragon rescue 100% | 個人 |
| | Blue Bird | ロボスクウェア |
| | NAGAMURA | ロボスクウェア |
| セカンダリー部門 | TMCT | 東京都立工業高等専門学校 |
| | RCE | 東京都立工業高等専門学校 |
| ダンスチャレンジ プライマリー部門 | | |
| プライマリー部門 | Chacha | スコール・アソカ |
| | Peace of the World | 個人 |
| | KONPEITOU | Crefus (株)ロボット科学教育) |
| セカンダリー部門 | Snowboarder Ryuji | 個人 |

